

第4回 知立市まちづくり委員会 議事録

開催日時	令和3年6月29日(火) 18:30～20:50	
開催場所	中央公民館2階中会議室	
出席者	石原・伊藤・楠・杉山・服部・阪野	
欠席者	なし	
今回の議題	・再協議案件の課題共有 ・活動テーマの決定 ・今後の進め方	
会議資料	課題抽出マトリックスシート	
会議概要	再協議案件の課題共有	■ 前回の会合で再協議となった案件の内容共有と課題分析 ① 知立伝統遺産の周知活動 a. 内容 ・知立駅～知立神社 ・知立駅～松並木のコースを使った知立市民以外の方を対象とした伝統遺産のPR活動 b. 協議結果 本案はコスト負担が大きく、知立市民をサービスの対象としていない(知立市民自体への影響度が低い)ため、見送る。 ② マルシェの開催 a. 内容 ・知立市民が希望通りマルシェを開催できる機会作り b. 協議結果 マルシェ単体の事業は不安要素が多いため、他の案件に絡めた形(実施するイベント事業の中のパーツ)で進めて行く。
	活動テーマの最終選定	■ 前回会合での課題認識済み案件に対する議論 ① 地域未来塾のようなシステムの構築 ※「まちづくり委員会」で定められた期間内で実現可能かどうかの観点から、本テーマを深掘りした。 ・人材確保が学校現場でもできていないのが現状。 ・重要な取り組み課題であることは認識できるが、限られた1年間という「まちづくり委員会」で実現させるには難しいと感じる。 ・途中までは(やれるところまで)出来ないか？ ・提言だけでもいいのではないか？(議会に陳情してみてもどうか) ・教育人材の確保を資金面を考えると、かなりハードルが高い。 ・ロコミ等で開催したとしても現状では市民の力での継続は困難。行政が実施すべき課題と考える。 【結論】 ・「市民主体」で実施する、まちづくり委員会の取り組み課題とするのは厳しい条件が多いため、今回の活動テーマとしては見送る。 ② 地域公民館イベントの開催 ※実行するにあたって決定的にネックになる問題はないかを議論の焦点として絞り込んで議論した。 ・開催告知のチラシ等の印刷費用の捻出は課題としてあるが、全く不可能と言えるほど高額ではない。

	・知立市は人口密度が高いので、地域密着型のイベントは必要であると考える。 ・既存のイベントと変わらないので意味がない。もっと斬新なアイデアを誰かに出して欲しい。 ・新鮮なアイデアだと思う。やってみたい。 【結論】 ・本案を令和3年まちづくり委員会の取り組みテーマとする。 ※1名の委員から反対意見があったが、他委員の意見として市民レベルでも実現可能ではないかとの判断多数により決定。 ・パイロットモデルとして新林地区にて実施を試みる。 ※テーマ選定の工程を7月以降の委員会場で再度やり直すという提案はあったが、これまで令和3年度知立市まちづくり委員会では、 ①「知立市の現状把握」→「ブレインストーミングによるワイガヤでの“やりたいこと”議論」→「“やりたいこと”に対するマトリックスを用いた課題抽出」→「活動テーマとしての実現性検証」というステップを重ねて来た経緯がある。 ②12月に企画の試行(実施)を前提とした場合、 ・市民への告知は企画実施1～2か月前にはしておきたい ・関連部署への交渉は3カ月前にはしておくべき ・説明、交渉をするためには、さらにその前月までには企画構成を固めておく必要がある ③前回議事録で今回の委員会にてテーマを決定すると告知済みであり、今回の会合で他の案件提案が無かった現状がある。 以上3つの理由により、委員会をこのタイミングで振り出しに戻すのは合理性・実現性に欠けると判断し、今回の結論に至った。
今後の進め方	■ 今後は会議室で話し合うのみでなく、実施に向け各委員における具体的な行動も必要となってくるが、マンパワー不足が予測されるため、その解消法について議論した。 【結論】 ・委員会メンバーだけで進めるのではなく、地元地域住民をはじめ、関係各所に協力を頂きながら進行する。 ・各所説明(交渉)のための資料を早急に準備する。 ・次回会合までに進められることは各自進めておく(連絡は取り合う)
決 定 事 項	(1)令和3年度まちづくり委員会の活動テーマを「地域密着型(公民館)イベント開催」とする。 (2)まちづくり委員のみで進行するのではなく地域の方を含め、関係各所を巻き込んで進める。 (3)次回委員会予定 ※次回日程:7月20日(火)18:30～20:50 知立市中央公民館大会議室
次回までの課題	・企画詳細の立案と説明
次 回 の 議 題	・進捗状況の共有化 ・全体スケジュールの詳細決定 ・実行準備における各委員の役割分担決定